

ブラジル情勢と対ブラジル外交  
(日伯中央協会主催講演会)

2018年11月21日

在ブラジル日本国大使館公使 藤村和広

- 1. 初めに
- 2. 近年のブラジル情勢
- 3. ボルソナーロ新大統領の課題 (経済/汚職対策/治安/外交/議会との関係)
- 4. 対ブラジル外交 (これまで/これから)
- 5. ご参考

1. 初めに

○2018年10月28日大統領選挙第二回投票:

ジャイル・ボルソナーロ候補 55.3%

フェルナンド・アダッジ候補 44.7%

→ボルソナーロが大統領へ

2019年1月1日就任式典、任期4年

○どういう人か?

元陸軍軍人

超保守派、予見不可能とのイメージ

1991年より連邦下院議員

つとに大統領選に意欲、SNS活用

出身地 (カンピーナス市) での日系社会との接点、2018年2月に日本訪問

○何がこの結果をもたらしたか?

= ①旧来の政治に対する国民の強い不満

②ボルソナーロの訴求力あるメッセージ発信 (SNS選挙)

③汚職まみれの労働者党 (PT) への反発とルーラ頼りの選挙戦失敗

④9月7日のボルソナーロ刺傷事件

2. 近年のブラジル情勢

○2015年 経済危機の深刻化、大規模デモの頻発

ラバジャット捜査の本格化

行政府・議会の有力者間で権力闘争の激化

### ○2016年 大統領弾劾プロセスの進行

5月ルセーフ大統領職務停止、テメル副大統領が代行へ  
8月リオ五輪閉会式の後、ルセーフ大統領の罷免決定、  
テメル大統領が正式な大統領就任  
「新しいブラジル」、「ブラジルコスト」削減、改革への取り組み  
：財政健全化、投資の誘致、労働制度改革、政治改革、汚職対策法  
ラバジャット汚職捜査の進行  
経済成長は二年連続マイナス、されど回復への期待

### ○2017年 テメル大統領にも汚職疑惑

政権は次第に失速、支持率は急落（史上最悪の3%に）  
年金改革、税制改革は頓挫  
経済回復の足取り重く

### ○2018年 大統領選挙本格化

1月ルーラ元大統領に収賄・マネロン罪で有罪判決、4月に収監  
3月ボルソナーロ、社会自由党に移籍し大統領選準備本格化  
世論調査：常にルーラ首位、ボルソナーロ二位（ルーラ抜きでは首位）  
5月テメル再選出馬断念、トラック運転手ストで経済マヒ、  
政権レイムダック化  
10月7日の第一回投票、28日の決選投票を経て、ボルソナーロが当選

## 3. ボルソナーロ新大統領の課題

「ブラジルは全ての上であり（BRASIL ACIMA DE TUDO.）」（10月28日、勝利宣言）  
・・・しかし「有権者はボルソナーロ氏が大統領に就任して何を行うのか全く  
判らないで同氏を選択したのである」  
（10月29日付エスタード・デ・サンパウロ紙）

### ○経済

小さな政府：財政均衡、債務削減、省庁統合、年金改革、地方への財源移譲、  
自由な経済活動：手続簡素化、起業・投資促進、成長達成、雇用創出（特に若者）  
ゲーデス次期経済大臣（？財務、企画、産業貿易を統合）に「白紙委任」：  
自由市場経済を重視する方針

### ○汚職対策

2016年政府提出「汚職対策」法案→議会で骨抜きに  
当時、オニキス・ロレンゾーニ下院議員（次期文官長）が尽力  
モロ連邦判事が法務・公安大臣に

## ○治安

刑法改正による厳罰化、殺人・強姦等重大犯罪に処罰年齢を16歳に引下げ、自己防衛の為に銃規制の緩和、収監中の重大犯罪者の一時外出不許可など

モロ「反汚職、反組織犯罪政策を導入。タスクフォース設置、六ヶ月以内に第一次反汚職対策政策パッケージ可決を目指す」(11月07日発言)

## ○外交

「外交の非イデオロギー化、先進国との関係重視、自産品に経済的・技術的価値を付与してくれる国との二国間関係探求、自に対する国際的敬意の回復」

米国、中国、イスラエル、キューバなどに言及

グローバルな課題：国連、人権、環境など

2019年 BRICS 首脳会議、COP25 の主催

## ○議会との関係

上院：全81議席で改選54名中再選は8名

議長、元副議長、与党院内総務など大物が落選

社会自由党が初めて議席獲得：ボルソナーロ長男を含む4名

17政党→21政党と更に細分化

下院：全513議席で444名が再選出馬、251議員が当選

社会自由党の大躍進：8議席→52議席、労働者党に次いで第二党に

労働者党は70議席→56議席と激減なるも第一党に

19政党→30政党と更に細分化

議会对策に注目・・・伝統的な取引政治と国民世論の声との板挟みへの対処如何

## 4. 対ブラジル外交

### ○これまで

2015年 日ブラジル外交関係樹立120周年

秋篠宮同妃両殿下の御訪問(10-11月、6州9都市)

ルセーフ大統領の訪日取りやめ(12月。2013年6月に次いで二度目)

2016年 リオ五輪：安倍総理のオリンピック閉会式参加(8月)

G20首脳会合の日伯首脳会談(9月、於杭州)

テメル大統領の日本公式訪問(10月。2005年のルーラ以来)

2017年 ジャパン・ハウス開館：テメル大統領、麻生副総理の臨席(5月)

2018年 皇太子殿下の第8回世界水フォーラムご臨席(3月)

日本人移住110周年-眞子内親王殿下ご訪問(7月。5州14都市)

## ○これから

2019 年 大統領就任式典

G20 日本開催 (6 月 28-29 日大阪で首脳会合)

COP25 ブラジル開催 (11 月 11-22 日)

日本人のアマゾン移住 90 周年 (9 月 12 日マナウスで、14 日ベレンで式典)

2020 年 東京オリンピック・パラリンピック

2022 年 ブラジルの独立 200 周年

## 5. ご参考

○眞子内親王殿下下ブラジル御訪問を終えられてのご印象 (2018 年 8 月 8 日)

<http://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/39>

○ジャパン・ハウス サンパウロにおける河野外務大臣の政策スピーチ  
(2018 年 5 月 20 日)

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/la\\_c/sa/br/page4\\_004067.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/page4_004067.html)

○中南米日系社会との連携強化に関する有識者懇談会報告書 (2017 年 5 月 9 日)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000254652.pdf>

○「新版 現代ブラジル事典」

ブラジル日本商工会議所 (2016 年、新評論社)

○「A Diplomacia na Construção do Brasil 1750-2016」

Rubens Ricupero 著

Versal Editores, Rio de Janeiro, 2017